

# シラバス

授 業 科 目	剤形をつくる(H18～)・製剤学(～H17)		
(英 文 名)	Industrial Pharmacy・Industrial Pharmacy		
担 当 教 員	片山博和、田中哲郎		
単 位 数 (期別)	△2(後)(H18～) ・②(後)(～H17)	対 象 学 生	3P(H18～) ・2P(～H17)

## ■授業のねらい・概要■

薬物はさまざまな投与経路（経口、皮膚、注射など）により投与されるため、加工する必要がある。加工する過程を製剤（化）、及び加工されたものを製剤と呼ぶ。医薬品の有効性・安全性を高めるため、又、患者さんの負担を軽減するため（例えば放出制御型製剤の利用により投与回数を減らす等）に優れた製剤の開発は不可欠である。製剤学では各種製剤の特徴、製造法について学ぶ。製剤学の知識は、医薬品の適正使用・評価を担う薬剤師業務においては、製剤業務のみならず処方点検、服薬指導並びに品質管理（製剤の安定性、溶出性など）を行う上でも重要である。

## ■授業(学習)の到達目標■

<代表的な製剤>

1. 代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。
2. 代表的な固形製剤の種類と性質を説明できる。
3. 代表的な半固形製剤の種類と性質を説明できる。
4. 代表的な液状製剤の種類と性質を説明できる。
5. 代表的な無菌製剤の種類と性質を説明できる。
6. エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。
7. 代表的な製剤添加物の種類と性質を説明できる。
8. 代表的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。

<製剤化>

1. 製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。
2. 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。

<製剤試験法>

1. 日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。

## ■回数ごとの授業内容■

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1 剤形の種類と特徴 (片山)                | 11 無菌製剤1 (注射剤) (田中 (哲))   |
| 2 固形製剤1 (散剤、顆粒剤) (片山)          | 12 無菌製剤2 (点眼剤など) (田中 (哲)) |
| 3 固形製剤2 (錠剤) (片山)              | 13 その他の製剤 (エアゾール剤など)      |
| 4 固形製剤3 (カプセル剤、添加剤) (片山)       | (田中 (哲))                  |
|                                | 14 まとめ (田中 (哲))           |
| 5 製剤の単位操作1 (粉碎、混合、造粒) (片山)     | 15 定期試験 (田中 (哲))          |
| 6 製剤の単位操作2 (打錠、コーティング、乾燥) (片山) |                           |
| 7 中間試験 (片山)                    |                           |
| 8 半固形製剤                        |                           |
| 9 液状製剤1 (生薬抽出製剤など)             |                           |

# シラバス

(田中 (哲))

10 液状製剤2 (芳香水剤など)

(田中 (哲))

---

## ■成績評価の方法・基準■

---

試験による。

---

## ■使用テキスト■

---

最新薬剤学 第9版/林 正弘等/廣川書店/ISBN:4-567-48025-2

---

## ■参 考 書■

---

該当なし。

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)
----------------------------

随時。
-----

# シラバス

<使用テキスト注文書>

注) すべての項目をご記入下さい。

書名	最新薬剤学 第9版
著者名	林 正弘等
出版社名	廣川書店
ISBN・ISSN	4-567-48025-2
予想部数	140部